



がんになっても いきいきと!

いきいき和歌山がんサポート理事長 谷野裕一

(115)

オンラインでセカンドオピニオン2

ツクスした活動“ごろコンサート”。今回で5回目。私は3回ご一緒させていただいてるので、渋谷まで応援に行つてきました。折角なので、渋谷で講演会と個人相談会を計画しました。

先日は大雨で大変でした。床上浸水は大変ですね。私の実家は昔よく床下浸水になっていましたが、床上はそれどころではないと思います。復旧が順調に進むことを願っています。

ところで、梅雨のさなかではあります。が、時々雨が降つてない朝は、自転車で和歌山マリーナサイティまで行くことにしています。涼しくて気持ちが良く、ユーチューブを聞いて勉強しながら行くのが楽しみで、5時に起きてしまいます。皆さんも運動しましそうね！

海南のアイソニック赤在さんが行う、音楽とがん啓発をミ

がん協会のイベント“ギャンサーサバイバー・ズデイ2023”で講演をしてきました。講演会は非常に盛り上がり、2000円なのに二十数人のご参加いただきました。

対がん協会のお仕事は今回で5回目。1回目は2011年の神戸はアグネスが来られました。次は2014年の有楽町マリオン。台風前日の大雨。麻木久仁子さんがご一緒に来ました。2016年は南果歩さんと六本木

台風を気にしながら3日の夕方に羽田に戻り、4日にがんセンター中央病院で対話を行つてきました。講演会とコンサート。羽田近くに泊まつて、2日の朝一の飛行機で戻り、那賀病院で一日仕事。翌日はアグネスが来られました。次は2014年の有楽町マリオン。台風前日の大雨。麻木久仁子さんがご一緒に来られました。2016年は南果歩さんと一緒に来られました。講演会とコンサート。羽田近くに泊まつて、2日の朝一の飛行機で戻り、那賀病院で一日仕事。翌日はアグネスが来られました。次は2014年の有楽町マリオン。台風前日の大雨。麻木久仁子さんがご一緒に来られました。2016年は南果歩さんと一緒に来られました。

でトーク。6000人集まつたそうです。2019年は神戸でアンミカさんとトーキングでしたが、台風で当日キャンセル。めちゃめちゃ残念。今回は台風後の築地のがんセンター中央病院。“地域にあつたがん治療・寄り添いのありかた”が与えられたテーマです。和歌山のきれいな写真とともに地域の良さをアピールしました。和歌山市は良いですが、田舎に行くと医療の選択肢が少なくなるのが

問題です。日本のほとんどの地域がその問題を抱えていました。私が始めてオンラインセカンドオピニオンがその問題を解決できるのではありませんかと提案してきました。地域では専門医不在、いても一人。治療法も限られた時間で説明することにより、主治医の不安も減ります。オンラインでセカンドオピニオンをする時間が多く取れない問題、遠く離れた家族が一緒に聞

けない問題もオンラインセカンドオピニオンだと解決できます。司会の方にもすぐご賛同していただき、良い講演になりました。たくさんの方々が喜んでもらいました。地域の問題解決にオンラインセカンドオピニオン。私の自信になりました。